

近世オランダにおける カトリックの生存戦略

上智大学中世思想研究所主催／神学・哲学史研究会共催ワークショップ

2019 11/19 Tue. 18:30~20:30

上智大学中央図書館9階(911教室)※開場18:00・入場無料・事前申込不要

講演

18:40-19:40 近世オランダにおけるカトリックの生存戦略

安平弦司（日本学術振興会特別研究員CPD）

19:55-20:30 全体討議

司会・進行 阿部 善彦（立教大学准教授・当研究所準所員）

連絡先：上智大学中世思想研究所

☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学四谷キャンパス：JR中央線・東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分



Sophia Open Research Weeks 2019

11/8 fri.— 22 fri. Sophia University Yotsuya Campus



ご案内

上智大学中世思想研究所主催／神学・哲学史研究会共催

近世オランダにおけるカトリックの生存戦略

上智大学中世思想研究所は、本年もSophia Open Research Weeksの一環として、研究協力関係にある神学・哲学史研究会とともに、若手研究者を企画担当とするワークショップを開催いたします。例年の企画では、大きなテーマをめぐってその諸相を展開するかたちで複数の登壇者を招いてまいりました。今回は、近世オランダのカトリックの活動に焦点をしぼり、テーマを明瞭にすることで、ご参集の皆様と具体的な議論を共有できるかたちにいたしました。専門の垣根を越えて、寛容さとは何なのか、諸宗派の共存はいかにして可能なのか、といった問題について再考する機会としていただければ幸いです。一般の皆様、学生の皆様のご来場も心より歓迎いたします。

上智大学中世思想研究所所長
佐藤直子

ワークショップの趣旨

西洋社会でいち早く宗教的な寛容を実践したとされる近世オランダ共和国。なるほど、この国ではカルヴァン派が政治的な主導権をにぎりつつも、レモンストラント派や再洗礼派などの主流から外れたプロテスタント、さらにはカトリック教徒たちにも宗教的な自由が与えられてきた、とこれまで語りつがれてきました。しかし、この物語は完全に間違いではないものの、必ずしも当時の状況を正確に表したもののとはいえないでしょう。近年の研究が明らかにしてきたのは、反主流派、とりわけカトリック教徒たちへの迫害が自由の国オランダにおいてもしばしば行われており、過酷なものであったという事実です。そこで本ワークショップでは、こうした事象をユトレヒトにある文書館の史料をつぶさにあたることによって明らかにしつつある新進気鋭の歴史家をお招きして、一般の方々にもわかりやすく当時のオランダにおける宗派共存の実情を語っていただきます。なかでも、ユトレヒトにおけるカトリックの生存戦略に注目することで、近世オランダ宗教史を捉え直します。

企画担当（当研究所準所員）： 阿部善彦（立教大学文学部准教授）
梅田孝太（上智大学文学部非常勤講師）
加藤喜之（立教大学文学部准教授）
坂本邦暢（明治大学文学部専任講師）

日時：2019年11月19日（火）18:30～20:30（開場 18:00）

会場：上智大学中央図書館9階（911教室）

18:30-18:35 所長挨拶 佐藤直子

18:35-18:40 趣旨説明 加藤喜之

18:40-19:40 ご講演「近世オランダにおけるカトリックの生存戦略」

安平弦司（日本学術振興会特別研究員CPD）

19:40-19:55 休憩

19:55-20:30 全体討議 司会：阿部善彦

連絡先：上智大学中世思想研究所

☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学中世思想研究所配属研究補助員 江藤 信暁

上智大学四谷キャンパス：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分